

2022年7月25日

**常陽銀行本店・足利銀行本店を含む5カ所のビル敷地内における
再生可能エネルギー電力の導入について**
～CO2排出量削減目標「2030年ネット・ゼロ」に向けた取り組み～

めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行(頭取 秋野 哲也)と足利銀行(頭取 清水 和幸)は、2022年7月より、東京電力エナジーパートナー株式会社(代表取締役社長 秋本 展秀)が提供するトラッキング付きFIT非化石証書^{*1}等が付与された再生可能エネルギー電力を、以下の5ビルに導入いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

めぶきフィナンシャルグループでは、「グループサステナビリティ方針」および「グループ環境方針」を公表^{*2}し、そのなかで2030年度までに自社グループのCO2排出量をネット・ゼロとすることを目指しています。本件取り組みは、使用電力に起因するCO2排出量の削減を図るため、再生可能エネルギーへの切り替えを進めるものです。

めぶきフィナンシャルグループは、今後も持続可能な社会の実現に向け、省エネ・省資源への取り組みを積極的に推進するとともに、環境に関する情報開示に努めてまいります。

*1 再生可能エネルギーの売買を可能とする非化石証書のうち、太陽光、風力、水力などのFIT電源が対象のもの。

*2 [2022年3月28日付 ニュースリリース「サステナビリティへの取組強化について」](#)を参照ください。

記

1. CO2排出量削減効果

年間 4,293 トン見込^{*1} (昨年度の常陽銀行と足利銀行のCO2排出量の約24%相当)

※1 東京電力エナジーパートナーの2020年度調整後排出係数により算出

2. 導入対象店舗

常陽銀行	本店、つくばビル、ひたちなかビル、事務センター
足利銀行	本店

(参考) CO2排出量削減実績・目標

2021年度(実績) ^{※2}	2030年度(目標) ^{※3}
2013年度比▲30.5%	ネット・ゼロ

※2 省エネ法の定期報告書における常陽銀行と足利銀行のCO2排出量(スコープ1,2)にガソリン使用による排出量を加算。

※3 「2030年度ネット・ゼロ」に向けたロードマップは別紙を参照ください。

以上

